

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/02/10

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.87	0.07
JPY/THB	0.2237	0.0006
USD/JPY	151.41	0.00
EUR/THB	34.99	-0.12
EUR/USD	1.0328	-0.0055
USD/CNH	7.303	0.015
SGD/THB	25.03	0.01
AUD/THB	21.25	0.01
USD/INR	87.43	-0.15
USD Index	108.04	0.35

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.082	-0.011
10Y (THB)	2.271	-0.006
5Y (USD)	4.349	0.074
10Y (USD)	4.495	0.061

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,867.3	11.3
WTI (Oil)	71.00	0.39
Copper	9,407.5	131.0

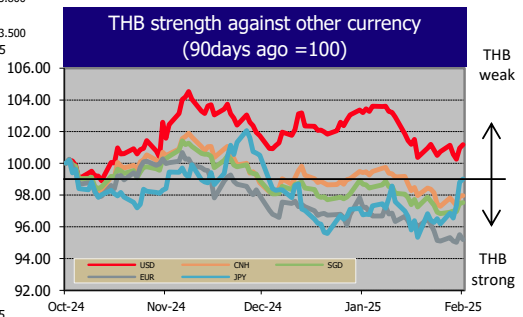
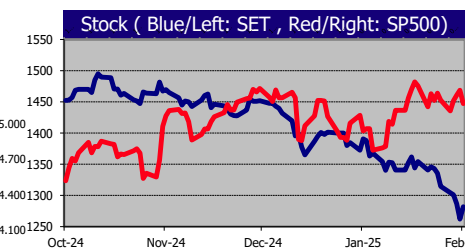
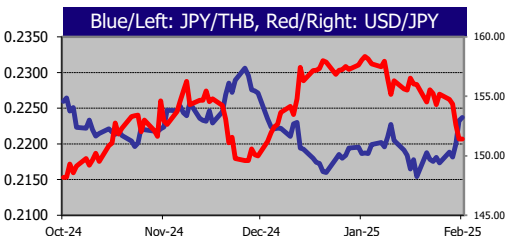
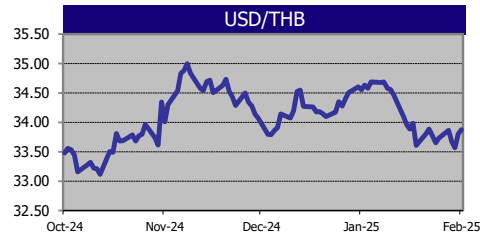
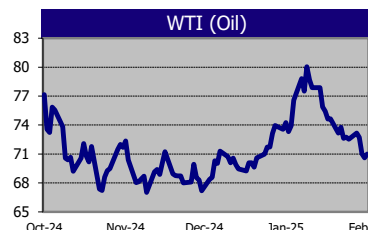
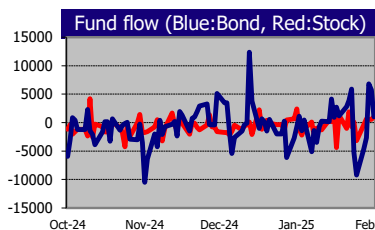
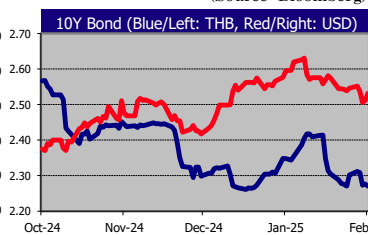
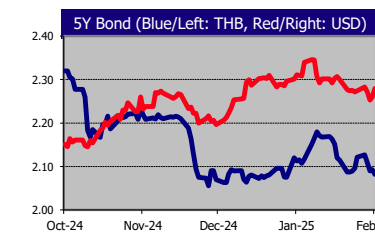
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,282.09	20.02
NIKKEI (JP)	38,787.02	-279.51
DOW (US)	44,303.40	-444.23
S&P500 (US)	6,025.99	-57.58
SHCOMP (CN)	3,303.67	33.01
DAX(GER)	21,787.00	-115.42

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,033	447.2
Bond net flow	1,012	-4723.9

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

7日(金)のドルパーツは小幅に上昇。33パーツ台後半の水準で取引を開始すると、海外時間に米1月雇用統計の発表を控える中、やや上値の重い推移に。33パーツ台半ばまで下落すると、そのまま海外時間へ渡った。注目の雇用統計は強弱入り混じる結果となり、ドルパーツは33パーツ台半ばから後半にかけて上下。その後、「トランプ政権が来週にも相互関税の導入を検討」とのヘッドラインが確認されると、ドル買い優勢の地合いとなり、ドルパーツは上昇。そのまま33.87レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

7日(金)のドル円は上に往ってこいの展開。151円台前半の水準で取引を開始。オープン直後こそ151円を割り込む場面を見せたものの、直ぐに戻し、以降はじりじりと上昇する展開。海外時間、雇用統計の結果を受けて一時152円台前半を付けたものの、その後発表された米2月ミシガン大学消費者マインド指数が市場予想を下回ったことや、トランプ政権による関税政策を巡る報道にリスクオフムードが広がり、ドル円は下落。再度151円を割り込む場面を見せた。終盤にかけては下げ渋り、151円台半ば付近まで戻すと、151.41レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

7日(金)に発表された米1月雇用統計は非農業部門雇用者数が+143千人と市場予想(+169千人)を下回った。ただ、過去2か月分が上方修正されたほか(11月分: +212千人→+261千人、12月分+256千人→307千人)、失業率は4.0%(市場予想:4.1%)、平均時給が前月比で+0.5%(市場予想:同+0.3%)となり、結果的には米国景気の底堅さを印象付けるものとなった。指標発表後、Fed高官からは米政策金利について、今回の雇用統計の結果を背景に様子見姿勢を強める旨の発言が確認されており、市場も次回FOMC(3月)での利下げ見送りをほぼ織り込んでいる。今月26日、今年最初のタイ中銀による金融政策委員会の開催が予定されているが、THOR OIS市場から見ると、こちらも金利据え置きが予想されている状況。かかる中、やはりまだまだ金融政策ではなく「関税相場」が続くということなのだろう。雇用統計と同日、「トランプ政権が10日に相互関税を発表予定」とのヘッドラインにドルパーツは雇用統計発表直後以上の大きな振れ幅を見せた。引き続き、同政権の動向に警戒感を持って臨むという環境は変わらない。(末廣)